

2024年度入試【3年次編入学】

【人文学】

(法文学部 言語文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は6ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(小竹直子「やさしい日本語への転換」『フォビアがいっぱい』より、一部改変)

問1 下線部①について、筆者はどのような工夫を求めているか、本文に即して説明しなさい。

問2 下線部②について、なぜ在留外国人が「災害弱者」になりうるのか、本文の内容を参考に、具体的な例を挙げて説明しなさい。

問3 本文の C の文章を, D の箇所に入るように, 八つのルールに従ってやさしい日本語に直しなさい。

問4 下線部③について, やさしい日本語の使用が多文化共生の促進につながると筆者が主張する理由を説明しなさい。

問5 日本語運用能力が初級の外国人とのコミュニケーションにおいて, 単に文章の構造を簡単にするだけでは解決しえない問題があります。日本語話者側の問題とも考えられるものを, 本文を参考にして説明しなさい。

問6 やさしい日本語を使うことにはどのような社会的意義があると筆者は考えているか, 本文に即して説明した上で, それに対するあなた自身の見解を述べなさい。